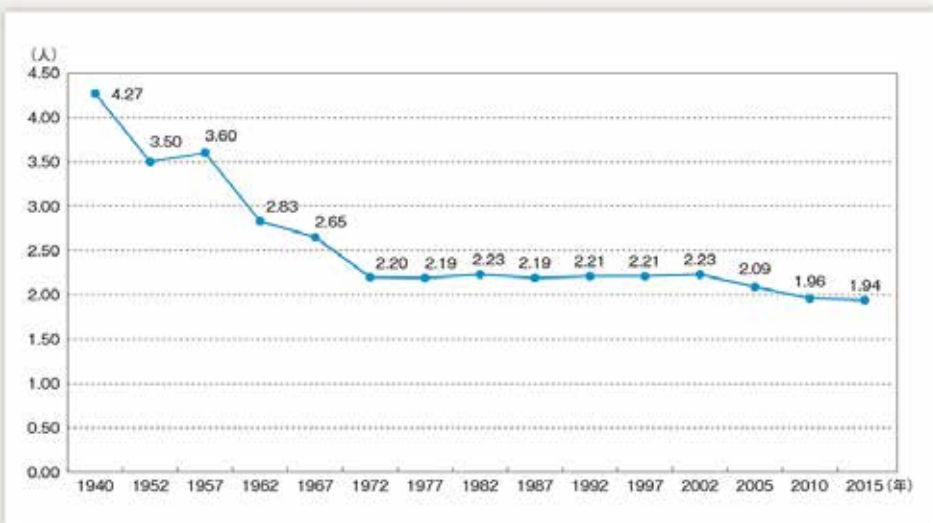


各都道府県 (市町村) の状況



- ・ 子供がどのくらい生まれるか、というのは、計算上「どのくらいの人が結婚しているか」と「結婚した人がどのくらい子供を持つのか」との掛け算である。
- ・ 「結婚した人がどのくらい子供を持っているのか」を「完結出生児数」と呼び、近年若干低下傾向にあるものの、1970年頃からずっと2前後で横ばいとなっている。結婚した夫婦から平均して2名程度の子供が生まれている状況は、維持されている。



資料：国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査（夫婦調査）」（2015年）を基に作成。

注：対象は結婚持続期間15～19年の初婚どうしの夫婦（出生子供数不詳を除く）。横軸の年は調査を実施した年である。